

# 一般質問発言通告要旨

(令和7年三島市議会9月定例会)

発言順位	発言者	発言要旨	備考
1	高田 康子	1 三島大祭りをふるさと納税や観光の一環としての活用について 2 「もっと外へ！もっと笑顔に！通いの場マップ」の有効活用について	9/24 (水)
2	本間 雄次郎	1 三島駅南口東街区再開発事業 2 新庁舎整備事業	
3	沈 久 美	1 選択的共同親権を含む改正民法施行に向けた具体的な対応準備の現状 2 ラジオ体操の教育的活用と学校現場での指導のあり方	
4	野村 謙子	1 放課後児童クラブの利便性の向上と環境改善について	
5	古長谷 稔	1 伊豆ファン俱楽部の再構築と持続可能性について 2 高齢者が自宅担保で負担なく耐震化可能な取り組みについて	9/25 (木)
6	弓場 重明	1 『市長、本当に市庁舎、南二日町で良いのですか』第3弾について	
7	横山 雅人	1 ピロリ菌検査について 2 駅伝・マラソン大会の新規開催について 3 長伏公園再整備について	
8	岡田 美喜子	1 小中学校の空調設備の早期実現に向けて 2 ものづくりによる次世代育成と教育支援について 3 三島駅北口の渋滞緩和と雨水対策について	
9	鈴木 文子	1 「あかちゃんのへや」で「搾乳」できる取り組みについて 2 「子育て部分休業制度」について 3 防災・減災対策について	9/26 (金)
10	土屋 利絵	1 人口減少社会の三島市財政と新庁舎整備について	
11	河野 月江	1 誰もが認め合い、安心・快適に暮らし、共生・活躍できる多文化共生のまちへ 2 再開発事業でまたも補助金負担の引上げか一「トロイの木馬」的やり口を問うー	
12	甲斐 幸博	1 小中学校体育館の空調設備設置について 2 子どもや若者に関する問題解決の取組について 3 三島市内の水道管について	
13	村田 耕一	1 介護体制 2 学校施設の空調設備設置 3 結婚子育て支援	9/29 (月)
14	秋山 恭亮	1 水の都 三島で子育て 2 災害時の協定について 3 地方創生策	
15	服部 正平	1 三島市第3次環境基本計画（2022年度～2031年度）の取り組みについて 2 市民の健康増進に向け当市が取り組まれている事業について	
16	佐野 淳祥	1 伝統芸能と文化の継承、しゃぎりへの理解とシティプロモーション 2 三島駅南口周辺の安全と利便性について	
17	石井 真人	1 新庁舎建設と市の財政状況について 2 三島市のひきこもり対策について	9/30 (火)
18	永田 裕二	1 学校給食における食品ロス削減と児童生徒の喫食状況 2 本庁舎駐車場の混雑時の対応	

問い合わせ先：三島市議会事務局（電話番号 055-983-2600）

# 一般質問発言通告書

発言順位 1番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 15番 高田 康子

## 質問事項1 三島大祭りをふるさと納税や観光の一環としての活用について

具体的な内容 ふるさと納税が市の大切な財源になっていることは、他自治体を見てもわかる通りで、とても大切な財源です。この数年三島市のふるさと納税の収益はなかなか厳しいものだと聞こえてきています。人気のある自治体は、生活必需品や海産物や高級食材などを地元で地産している、もしくはアピールがとても上手だと感心しております。

先月行われた三島最大といつてもいいほどのイベント、三島大祭りは、初日17万人、2日目18万人、3日目17万人の3日間で52万人となり、令和4年以来の50万人越えの人出となり、大盛況でした。

50万人以上の人出を集められる三島大祭りを、観光やふるさと納税の目玉商品としてアピールしていくことが市にとって有益だと考えます。このことを踏まえて伺います。

- 1 三島大祭りを資源にした返礼をいくらで提示し、どのポータルサイトで掲載したのか、その返礼の金額の根拠、その返礼に対する当局のお考えをお聞かせください。
- 2 頼朝行列の頼朝に女性の起用の可能性はあるのか。
- 3 今後大祭りにかかる体験などを返礼にする考えはあるのか。
- 4 三島の歴史などの資源を使って、三島暦やプレゼント型のふるさと納税を返礼にできなかいか。

## 質問事項2 「もっと外へ！もっと笑顔に！通いの場マップ」の有効活用について

具体的な内容 6月の一般質問で、人生100年時代を全うするまでウェルビーイングな時を過ごす取り組みについてお聞きいたしました。その際のご答弁を受けて、市内のある高齢者の通いの場に顔を出しました。

その日の参加者は24名ほど、そのうち4名ほどが男性の方で、市民講座やマージャンなど楽しみながら頭を使う催し物がありました。そこで話を聞くと、自分の地区でサロンをやっていたが人が集まらなくて辞めたという人がいました。

そこで、話を聞いてみると、サロン参加者のたくさんの声が聞こえてきました。

- 1 サロン参加者の声を聴いて、市ではどのように考えますか。また、サロンなどの参加者の方々に対してヒアリングをしているのでしょうか。
- 2 三島市にはもっと外へ！もっと笑顔に！通いの場マップという小冊子がありますが、この冊子はどのように分けていますか。
- 3 通いの場マップを免許返納時に対象の方々にお渡しすることは可能か
- 4 サロンにもKenposの二次元バーコード、健幸マイレージのポイント対象施設に認定や導入はできないか。

# 一般質問発言通告書

発言順位 2番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年 9月 5日  
三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 6番 本間 雄次郎

質問事項1 三島駅南口東街区再開発事業

具体的な内容

先日、担当課より市議会の各会派に本事業に関して説明がなされた。内容としては主に懸念される地下水に関する状況説明と事業計画変更による補助金を含む三島市の負担増加であったと認識している。

これまで私は議員になって以降、一度を除いてこの再開発事業について質問を続けてきた。補助金の増加はこれ以上ないのか、補助金以外にも負担金や賦課金、竣工後の床の買い増しなど、私なりにあらゆる可能性を問うてきた。ただ今回の事業変更もこれまでの巧妙な進め方を見れば、ある程度、予測はしていたものの、手段はまさに再開発の闇そのものであり、今回も大変に疑問を感じている。以下を伺う。

- 1 今回の事業計画変更認可申請はいつ提出するのか。またこの変更はいつ組合から提示されたか。
- 2 定期借地事業におけるホテルの需要見込みはあるか。
- 3 定期借地事業におけるホテルの見通しをつけるために、現在の西街区の東急ホテル稼働率は把握しているか。
- 4 補助金以外に考えられる三島市の負担増加はあるか。

質問事項2 新庁舎整備事業

具体的な内容

前回6月定例会で南二日町への移転にかかる条例案が議会で否決された。反対した議員の意見は様々であったが、私としては100億という金額を主とした計画そのものへの疑義が大きな要因であった。豊岡市長の思惑をこれまでもしばらく追及しているが、とにかく私としては急いで位置（家で言えば住所）を変更してはならない、との考えは変わらない。それは今回一般質問の質問事項1である再開発事業のように、動き出したら「もうどうにも止まらない」、「追加負担しても進むしかない」状況になってしまうことを危惧しているからである。

以下を伺う。

- 1 位置条例可決をこのように早期に求める理由は。
- 2 仮に位置条例を再上程する場合、三島市としてそれまでにどのような計画修正をしていくのか。
- 3 約30年前の大雨による大場川氾濫で現在の警察署横の堤防が大きく損壊したが、今回の南二日町移転を考えるうえで、リスクとは考えないか。

# 一般質問発言通告書

発言順位 3番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年 9月 5日  
三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 2番 沈 久美

## 質問事項1 選択的共同親権を含む改正民法施行に向けた具体的な対応準備の現状

具体的な内容 令和6年5月、77年ぶりとされる民法の一部を改正する法律が成立しました。これにより、父母の離婚等に直面する子どもの利益を確保するため、養育に関する父母の責務を明確にするとともに、親権・監護、養育費、親子交流ほか、養子縁組、財産分与等に関する規定が見直されました。共同親権については選択的という形に。法定養育費の請求権が新設されるなど養育費に関する裁判手続きの利便性が向上するほか、離婚後の親子交流の実現も図されることから、「こどもまんなか」を目指す国民の意識変化、社会の変化も注目されるところです。改正民法施行まで1年を切りました。改正民法には附帯決議十五で「運用開始に向けた適切な準備」が求められていることから、子育て支援における具体的な対応準備、その進捗を伺います。

- 1 三島市はひとり親家庭割合が全国平均を下回っており、離婚を経験した家庭に対する支援の必要性が実感されにくい傾向がある。離婚を経験した子どもの数をどのように捉えているか伺う。
- 2 母子家庭の生活困窮は本市でも課題。支援ニーズが見えづらい地域特性の中で支援の重点ポイントはどんなところにあると認識されているか。また、制度施行後は市民からの相談は増えると予想される。特に親権の選択や面会交流、養育費に関する合意形成など、市民課窓口や子ども家庭支援機関にも影響が及ぶ。こうした状況下で相談体制充実に向けた具体的な取り組みを伺う。
- 3 明石市等ではすでに離婚前後家庭支援として養育費確保の公正証書作成支援に着手。こうした先進事例を参考にしながら、本市でも同様の支援を検討・導入の意向はあるか。また、法務省や県の離婚時用配布資料を補足する市独自の「こどもまんなか」資料等の作成予定はどうか。

## 質問事項2 ラジオ体操の教育的活用と学校現場での指導のあり方

具体的な内容 三島市では、夏休み前に「ラジオ体操カード」を配布し、子どもたちの健康習慣を支援する取り組みが行われています。しかし、実際、子どもたちがラジオ体操をどこで、誰に、どのように学んでいるのかは見えづらく、「学校での学習機会が不足しているのではないか」「国民の体操としてなじみ深いこの状態を維持していくのか」といったご指摘と懸念の声が市民からありました。この点を踏まえ、見解と今後の対応について伺います。

- 1 学校におけるラジオ体操の指導実態と今後の方針について  
学校は夏休み前に子どもたちにラジオ体操カードを配布しているが、夏休み後の回収はされていないと聞く。小中学校においてラジオ体操を学ぶ機会がどの程度確保されているのか、また今後、カードの回収復活等、学校教育の中での指導充実を図る方針があるか。
- 2 ラジオ体操の教育的価値を活かした健康習慣づくりの推進について  
子どもたちの基本的な運動習慣や生活リズムの確立において、ラジオ体操の活用は有効。学校教育や放課後活動等において、健康教育の一環として積極的に活用することについての見解および実施事例があれば伺う。
- 3 持続可能性をふまえた地域との連携やラジオ体操学習機会の創出について  
ラジオ体操は子どもにとって世代間交流にふさわしいと考える。自治会、ラジオ体操会、あるいは独自の活動としてラジオ体操を行っている地域の現状はどうか。  
また、地域として子どもたちが正しい体操を学ぶ出前授業や体験会の実施を検討できないか。

# 一般質問発言通告書

発言順位 4番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 19番 野村 諒子

質問事項1 放課後児童クラブの利便性の向上と環境改善について

具体的な内容

若年層の減少による労働力人口の減少を補うために、2015年に女性活躍推進法が施行され結婚後も働き続ける女性が増えてきました。そのような保護者の就労を支援するための施設として放課後児童クラブが整備され、放課後の子どもたちの居場所として利用されてきています。

三島市内では各小学校に整備されていますが、1クラブの定員を40名としていることから、そこを利用する家庭が増えている小学校では、状況に合わせて第2、第3クラブとクラブ数を増やして、待機児童が出ないように取り組んできたことは、評価するところです。

この放課後児童クラブと同じように、障がいを持った子どもたちが放課後の時間を過ごす場所として、放課後デイサービスを提供する施設も市内には増えてきました。放課後デイサービスは単なる居場所としてだけでなく、子ども一人一人の特性に向き合い子どもの発達に応じた個別指導等、豊富なカリキュラムが組まれた充実した施設となっています。

この放課後デイサービスと放課後児童クラブを比較した場合、放課後児童クラブの環境が子どもたちが長時間過ごす場所として、課題があるのではないかと感じています。

設置の経緯、目的が違っているものの、子どもたちが安心、安全に過ごす居場所としての機能は保証されなければならないと考えます。

待機児童を出さない為の取組みや単なる預かり機能としてではなく、子どもたちが放課後や長期休暇を安心安全で、一人一人の成長にとって有益な環境で楽しく過ごすことができるようになることが必要なことと考え、伺います。

## 1 放課後児童クラブの保護者の就労を支援するための利便性の向上

- (1) 放課後児童クラブの現状（クラブ数、利用者数の推移と課題）を伺う。
- (2) 待機児童を出さないための保護者が就労している家庭の受け皿としての課題を伺う。
- (3) 受け入れ条件について他市との比較における考え方を伺う。
- (4) 勤務時間等、受け入れ条件の改善を図れないか伺う。
- (5) 受け入れ条件を緩和した場合に必要とされる予算等と今後の方針を伺う。

## 2 放課後児童クラブを健全な居場所とするための環境改善への取り組み

- (1) 国が定める設置基準等の参照に対する市の考え方を伺う。
- (2) 雨の日や、真夏の過ごし方に課題はないか伺う。
- (3) 騒音に対する取り組みを伺う。
- (4) 一人になりたい、静かな環境で過ごしたい児童への配慮を伺う。
- (5) 図書館や体育館を利用できる環境になっているか。
- (6) 今後、1クラブへの受け入れ人数を減らす取組みはできないか、課題は何か伺う。
- (7) 指導員を加配する取り組みはできないか伺う。
- (8) 放課後児童クラブを、子どもたちの快適な居場所とするための市の考えを伺う。

# 一般質問発言通告書

発言順位	5番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 14番 古長谷 稔

## 質問事項1 伊豆ファン俱楽部の再構築と持続可能性について

具体的な内容 伊豆ファン俱楽部は令和5年度にスタートし、現在3年目の半ばを迎えてい

る。加盟店舗350件、既存会員約2,500人という規模まで広がってはいるものの、利用実態としてポイント付与は伸び悩み、利用頻度は半数以上の会員が数回程度という低調な状況が続いている。一方、SNSプロモーションによりホームページ閲覧数は約3倍に増加するなど一定の効果も見られている。しかしながら、DNPデータ連携基盤やマイナンバーを活用したデータ活用などによる広域連携、将来的な官民連携DAOの可能性も視野に入れた場合、この辺りでストーリーを再構築しなければ、他市との合意形成、継続は困難となる印象がある。ここで改めて、持続可能な仕組みを目指すため、今後の改善・広域展開・財政自立への道筋を探るべく、市の現状判断と具体策について、以下、順次伺う。

- 1 利用実態と低利用構造の原因分析及び改善見通し
- 2 SNS施策等のPRの効果と次なるプロモーション展開の見通し
- 3 これまでの店舗へのデータ還元と今後の魅力向上に向けた計画について
- 4 アプリ継続による費用負担と終了方針の選択可否、別の方法への移行可能性について
- 5 広域連携の方針維持とさらなる連携拡大展開への協議体制と工程表
- 6 財政的自立へ向けた自立可能な収支構造の設計見通し及び今後のストーリー再構築について
- 7 他市も含めて議会・市民に対する、再構築に向けた説明責任について

## 質問事項2 高齢者が自宅担保で負担なく耐震化可能な取り組みについて

具体的な内容 能登半島地震、南海トラフ巨大地震臨時情報等を機に、改めて老朽住宅の耐震化に関心が高まる中で、三島市では2025年9月1日から、高齢者が自宅を担保に耐震補強工事を、実質的な費用負担なく実施できる「リバース60」を活用した利子補給制度を導入し、県内初の取り組みとして注目を集めている。併せて補助金制度とも連動しているので、これまで経済的に耐震化を諦めていた高齢世帯にも、耐震化するきっかけとなる施策と考える。しかしながら、土地・建物を担保にすることへの心理的抵抗感、相続人との調整、広報不足による認知度の低さなど、課題は山積している。さらに、県補助の今後や市予算確保の不透明さ、空き家政策との連動不足も指摘されている。高齢独居世帯などなかなか耐震化を進められなかった世帯の耐震化が大幅に進めば、三島市の防災力向上に直結する制度と言える。制度の実態を踏まえて、今後の広報強化の方針、利用促進策など長期的な政策の方向性を伺う。

- 1 制度導入の背景・経過、取り組みの概要と特徴、運用への課題、改善策について
- 2 広報・周知が大切、強化する戦略について
- 3 終了予定とされる県の「東海ゼロ」事業補助金制度と財源確保の見通しについて
- 4 空き家政策との整合性と、今後の目標設定と進捗管理について

# 一般質問発言通告書

発言順位 6番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 8番 弓場 重明

質問事項1 『市長、本当に市庁舎、南二日町で良いのですか』第3弾について

具体的な内容 前回まで、南二日町広場が市庁舎新築移転先として適地では無いのではとして下記内容にて質問した。

- ・最大予測震度6強で液状化(PL値5以上)の被害想定も予測される軟弱地盤であること。
- ・大場川は暴れ川、河岸浸食(家屋倒壊等氾濫想定区域)溢水、越水の可能性があること。
- ・アンケートの内容、調査方法、結果と南二日町への移転に故意に誘導した疑問があること。
- ・南二日町への移転新築事業費と周辺のインフラ整備費は概算で約200億円となること。
- ・借地を返還しなければ70年間に延べ約15億円の借地代を支払い、その後も市の所有にならないこと。

以上、主な5つの点で、南二日町移転については反対の立場で議場で質問させて頂いた。

今回は、北田町(現在地)で建て替えた場合、当局が危惧しているほど難しい敷地ではない理由を示し、現在地が建設用地として十分可能であるとの見解を示せばとの思いで質問する。

1 三島市にとって、駅前再開発工事の槌音が響く三島駅周辺、三島広小路駅周辺、そして三嶋大社周辺を結ぶエリア内は、Waterトライアングル(三島の街を形作る水のデルタ地帯)だと考えられる。その要となっているのが市庁舎。それが街外れに移転するとなると、中心市街地の人通りが減り、街並みが寂れ、活性化が損なわれ、商店街の空洞化が起こるのではないかと考えるが見解を伺う。

2 三島市の人口が2050年には82,914人になり、今以上に来庁者の減少が予想される。また、IT関連の技術・設備、それら機器の進化は日進月歩、建物は60年以上維持できても関連設備機器が持たない。建物の改修もさることながら特に設備にはコストがかかる。現在地に30年程度利活用できる市庁舎を建設し、30年後には規模を縮小して建て替える方がコストパフォーマンスが良いのではないか。その点について伺う。

3 三島市街地の賑わいや活性化に、今まで多くの予算が計上され、執行され消えていった。費用対効果を考えると十分な成果があったかは甚だ疑問な事業も多々あった。そんな状況を改善せずして、今度は、市庁舎及び関連施設が移転した跡地を活性化の為に再利用するとの計画があるという。今までできなかった活性化が跡地利用できるのか。基本的な成算とそれに伴う計画について伺う。

4 『市役所の駐車場は、いつ行っても満杯で駐車するのに大変苦労する』と10年前の感覚(年に数回の来庁者)で言われる方々が多い。最近、市役所周辺にミニポケット駐車場が増えた。

1時間程度の無料券を発行すれば年に数回ある混雑も回避する事ができる。現在でも可能。その点について伺う。

5 北田町(現在地)で建て替えた場合、当局が言うほど難しい工事ではない。道路斜線を活用し、正面駐車場に建設、既存庁舎を活用しつつ工事もできる。可能性があるならば、北田町での建設、変更はまだ間に合うのではないか。改めてもう一度、専門家と検討する必要があると考えるが見解を伺う。

6 総合計画の中で『37 ICTを活用したスマート自治体・スマート市役所』『30 集約型都市構造(コンパクトシティ)』や『29 安全な道路の維持管理』を標榜している三島市。長期的かつ広域的な視野にたった戦略を模索し、三島の未来図を、再構築する必要があると考える。改めて伺う。

# 一般質問発言通告書

発言順位 7番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員

18番 横山 雅人

## 質問事項1 ピロリ菌検査について

具体的な内容 胃がんはかつて日本人の死因の筆頭でした。厚生労働省の2021年の人口動態統計によると、胃がんは男性のがん死因の第3位、女性では第5位となっています。国立がん研究センターの2020年のデータによると、あらたに胃がんと診断された患者数は109,679人で、大腸がん、肺がんに次いで3番目に多いがんでした。胃がんの99%以上はピロリ菌感染が原因とされております。将来的な胃がん発症リスクの低減を図るために、ピロリ菌の有無の検査について伺います。

- 1 昨年、三島市の胃がん検診を受けた方の人数、受診率、男女比、年齢層、検診内容を伺う。
- 2 その結果から考察できることは何か。
- 3 三島市のピロリ菌検査に対する考え方（胃がん予防の観点から）を伺う。
- 4 中学3年生の貧血検査で行う採血でピロリ菌検査を追加することへの見解を伺う。  
(ピロリ菌検査を追加することによる費用も含める)

## 質問事項2 駅伝・マラソン大会の新規開催について

具体的な内容 以前修善寺から三嶋大社までのマラソン大会がありました。人気の大会だったと記憶しております。毎年お正月には東京大手町から箱根の芦ノ湖まで往復する箱根駅伝が開催されており現地での観戦、テレビ観戦は多くの方の楽しみになっており大きな賑わいとなっています。また、実際に走ることを楽しみにしている方もたくさんいます。そこで街の賑わいづくりとして新しく駅伝・マラソン大会を開催することについて伺います。

- 1 現在三島市で行われている駅伝・マラソン大会の開催状況（日時、場所、参加者数と推移）を伺う。
- 2 その大会開催の効果と検証を伺う。
- 3 箱根エコパーキングを出発し大通り商店街を抜け沼津港に至るコースを設定し、高校生や障がいのある方を対象とした駅伝・マラソン大会を近隣市町と連携し、広域での開催を三島市が旗振り役となり検討する協議会を設置してはいかがか。

## 質問事項3 長伏公園再整備について

具体的な内容 2023年9月定例会で長伏プール終了後の活用について、2024年6月長伏公園再整備について、私は2回一般質問を行っています。今年度は1期工事として大型遊具設置、来年度以降2期工事へつづくと認識しております。そこで長伏公園再整備について伺います。

- 1 現在の進捗状況は（全体計画の観点で）どのようにになっているか。
- 2 どのような大型遊具に決まったのか。またそのエリアの整備計画はどのようなものか。
- 3 当初計画からの変更点はあるか。
- 4 アーバンスポーツ練習施設設置について昨年6月のご答弁でも第2期工事で具体的な検討をしていくとのことでしたが、アーバンスポーツ練習施設設置の計画はあるか。
- 5 県による（仮称）狩野川新橋の計画が長伏公園再整備計画へ及ぼす影響はあるか。

# 一般質問発言通告書

発言順位 8番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 22番 岡田 美喜子

## 質問事項1 小中学校の空調設備の早期実現に向けて

具体的な内容 近年、猛暑が続き、学校での学習環境の改善は喫緊の課題である。本市の小中学校では普通教室の空調設置は完了したが、特別教室は設置率52.6%にとどまっている。また、学校体育館についてはスポットクーラーや扇風機の設置はされたが、エアコン設置はなく、教育環境の改善と避難所機能の強化という観点から早急な整備が求められる。設置費用に加え、電気代や保守点検などの維持管理も課題であることから、国の補助制度等を活用した財源確保と長期的なメンテナンス体制の整備が求められる。

- 1 小中学校の特別教室における空調設備の現状と今後の整備計画について伺う。
- 2 学校体育館は児童生徒の授業や部活動だけでなく、防災拠点・避難所としての役割りを踏まえた空調設備の設置が求められるが現状の取組みと今後の整備方針について伺う。
- 3 国の補助制度等を活用した財源確保について伺う。
- 4 空調設備の維持管理費への対応とメンテナンス体制の構築について伺う。

## 質問事項2 ものづくりによる次世代育成と教育支援について

具体的な内容 三島市には、伝統的なものづくり企業や職人が点在しているが、子どもたちや市民が直接触れる機会は限られている。近年、子どもたちの体験活動や探求学習の重要性が高まり、特に「ものづくり体験」は、創造力や課題解決力、協調性を育む教育として注目されている。本市では、少年少女発明クラブが活動し、毎年約60名の子どもたちが工作や発明を通してものづくりの楽しさを体験しているが、希望者全員が参加できる状況にない。

将来の技術者や創造的人材を育成するために、STEAM教育の推進や地域の企業・団体との連携を通じて、より多くの子どもたちがものづくりに触れる機会を提供することが求められている。

- 1 小中学生に対するものづくり教育の現状と課題の把握について伺う。
- 2 少年少女発明クラブ等の活動に対し、会場や指導員、財源の確保など具体的な支援策を伺う。
- 3 発明クラブや地域企業との連携、高校・大学との協働などにより、より多くの子どもたちが参加できるものづくり体験の機会を充実できないか。

## 質問事項3 三島駅北口の渋滞緩和と雨水対策について

具体的な内容 三島駅北口周辺は、市内外から多くの人が利用する交通の要所であり、通勤・通学や観光の拠点にもなっている。しかし、朝夕の通勤通学時間帯には交通が集中し、特に北口ロータリーや周辺道路で慢性的な渋滞が発生している。

また、近年の局地的な大雨により、駅周辺で雨水がたまりやすい箇所も見受けられ、公共交通の安全性や市民の利便性に影響を及ぼしている。

これらの課題は、駅の利用促進や観光振興の観点からも早急な対応が求められる。

- 1 北口周辺の朝夕の渋滞解消に向けて調査や具体的な対策の検討について伺う。
- 2 北口ロータリーの構造改善や公共交通の調整、自動車・歩行者の動線の見直しについて伺う。
- 3 豪雨時における駅北口周辺の雨水対策について、排水機能の課題と改善計画をどのように検討しているか。
- 4 駅北口の将来的な交通拠点整備のビジョンについて伺う。

# 一般質問発言通告書

発言順位 9番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 5番 鈴木文子

質問事項1 「あかちゃんのへや」で「搾乳」できる取り組みについて

具体的な内容

出産した女性の中には、赤ちゃんが入院している方や、出産後に復職した方など、様々な理由から自分で母乳を搾る、いわゆる「搾乳」を必要とする場合があります。

また、入院中のリトルベビーのために、搾乳して母乳を届ける必要がある方や、職場で母乳がたまつた方など、必要な方々が安心して搾乳ができるよう、社会全体で搾乳に対する知識と理解を深めるとともに、環境を整えていくことが重要です。

本市の公共施設・登録事業所などにある「あかちゃんのへや」は、搾乳に適した場所です。一人でも人目を気にせず安心して利用できる、取り組みが必要であると考える。

- 1 「あかちゃんのへや」に「搾乳できます」のロゴマークの入ったステッカーを掲示してはどうか。

質問事項2 「子育て部分休業制度」について

具体的な内容

静岡県では、令和7年6月定例会において、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正を受け、部分休業の取得パターンの多様化などを踏まえ、静岡県独自制度である子育て部分休業を改正し本年10月1日施行予定です。本市においても、子育て支援の充実や働き方改革といった観点から、子育て部分休業制度の導入に向けた検討が必要な視点であると考える。

- 1 「子育て部分休業制度」の導入に向けた検討は
- 2 対象を「小学校1年生から3年生までの子を養育する職員」としてはどうか。
- 3 障がいのある子の場合は「18歳の年度末まで養育する職員」としてはどうか。

質問事項3 防災・減災対策について

具体的な内容 9月1日は「防災の日」で、大規模な地震や台風、大雨など災害への備えを再確認し、防災・減災対策を一層強めることと、被災者支援の強化が大切です。

本年7月から全面施行された災害対策基本法などの改正では、避難所に加え、在宅や車中泊の避難者もケアできるよう、福祉専門職の災害派遣チーム(DWAT)の派遣による福祉サービスの提供が明記されている。

- 1 災害派遣福祉チーム(DWAT)により受けられる支援内容を伺う。
- 2 災害時デマ25%超、災害情報の判断と適切な活用について
- 3 ペット防災の取り組みについて
- 4 要配慮者対象者数・同意者数・個別避難計画の作成状況、同意の取り組みについて
- 5 体育館へのエアコン整備推進について
- 6 避難所において、子どもが遊べるキッズスペース整備などを念頭に、子ども・若者の居場所確保の取組について

# 一般質問発言通告書

発言順位 10 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 17 番 土屋 利絵

## 質問事項1 人口減少社会の三島市財政と新庁舎整備について

具体的な内容 6月議会に引き続き、これから加速していく人口減少社会の上に成り立たなければならない市の財政と、それでも進めていかなければならぬ新庁舎について伺います。

### 1 三島市総合計画の財政計画の立て直しについて

#### 2 これから40年後の三島市人口について

#### 3 一般財源について

(1) 一般財源の今後10年間の推移について伺う。

(2) 103万円の壁の廃止による三島市への影響について伺う。

(3) これから10年間の扶助費の推移について伺う。

(4) 他市と比較した三島市の投資的経費について伺う。

(5) これからの市債の推移について伺う。

(6) 長期財政計画よりも指数が悪化した場合の、一般財源の確保の仕方と、子育て支援や高齢者福祉などの市民サービスへの影響について伺う。

(7) 新庁舎の事業費の上限設定の必要性について伺う。

#### 4 基金の積み立てについて

#### 5 ファシリティマネジメントについて

(1) 前期計画の後半、今後5年間の課題について伺う。

(2) 公共施設等総合管理計画の中の新庁舎の建設費と焼却炉の建設費はどのように反映されているのか。また、今後10年間の毎年の返済額について伺う。

(3) 学校施設長寿命化計画の中の学校の建て替え時期について伺う。

(4) 新庁舎の面積を減らしていくために以下について伺う。

ア 市職員を減らしていく計画の必要性はあるか。

イ 市職員を減らすのと同時に、複合施設の職員の削減を含めた必要面積の減少も、面積算定に考慮するべきではないか。

ウ 面積を減らしたうえで、残す予定になっている保健センター、大社町別館を新庁舎の空きスペースができるまでの間、市の基幹施設として活用していく方向性について伺う。

# 一般質問発言通告書

発言順位 11 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 10番 河野 月江

質問事項1 誰もが認め合い、安心・快適に暮らし、共生・活躍できる多文化共生のまちへ

具体的な内容 全国の外国人入国者数、在留外国人数は昨年も過去最高を更新した。当市でも多くの外国人市民が地域の様々な産業を支え、子どもたちは保育園・幼稚園・学校にも通い、地域の中で暮らしている。市は第5次総合計画の施策に多文化共生を掲げ、国際交流室を中心に様々な取り組みを行ってきた。昨今、国政選挙やSNS等を通じ、実態のない「外国人への「優遇」「特権」」をふりまく排外的な言説が流布され、その影響が拡がっている一方、こうした事態と風潮に心を痛めている市民もいる。今回改めて、当市における現状、市の基本姿勢との間の取り組みを確認しつつ、「三島市多文化共生まちづくりプラン」(仮称)の策定に向け、さらに一步踏み込んだ取り組みを求め、以下伺う。

- 1 当市における外国人（観光客・在留外国人）に係る現況と推移、国籍・在留資格の状況
- 2 外国人に関する相談（外国人からの相談・外国人についての相談）窓口の状況（件数の推移と主な相談内容）
- 3 当市の生活保護受給者における外国人市民の比率（平成26年度末・令和6年度末）
- 4 当市の国民健康保険被保険者における外国人市民の比率と年齢構成および医療給付率
- 5 三島警察署管内における外国人による刑法犯検挙数推移（平成16・26年度、令和6年度）
- 6 「外国人優遇」への見解と多文化共生への基本姿勢
- 7 施策の推進状況（情報提供の充実、多文化共生意識の醸成、人材の育成）と課題
- 8 「三島市多文化共生まちづくりプラン」(仮称)の必要性と今後の取り組みについて

質問事項2 再開発事業でまたも補助金負担の引上げか—「トロイの木馬」的やり口を問う—

具体的な内容 現在工事が進められている三島駅南口東街区再開発事業について、8月末、担当課より議会各会派に対し進捗状況の説明があり、その中で市の負担する補助金が新たに約1億1千万円増額する可能性が示唆された。これまでの経過や市の議会答弁、市民説明の内容をもとに判断するならば、今回行おうとしている補助金引上げは、「油断・信用を逆手に取る裏切りや策略」を象徴する、いわゆる「トロイの木馬」的やり口である。公文書の存在を確認したが、そもそも補助金対象事業費に上限を設けることについて、対再開発組合あるいは府内で、いつどのように合意形成したのかについての記録が存在しない。この間費用便益比の取扱いそのものが曖昧のうちに推移してきた上で、現在示されている費用便益比は、もはや正確性・信用性・公認性を失っている。「説明責任」「合意形成の過程」「補助金支出の根拠」—これら3つが欠落していることから、新たな補助金支出は根拠を失っている。そのことを以下の質問で明らかにする。

- 1 令和5年9月22日の弓場議員、令和5年12月8日の河野による一般質問への答弁はどういう意味か。
- 2 工事費は従来計画の額からどれだけ上がっていくらになったのか。
- 3 従来計画と今回の容積割り増し計画それぞれにおいて、市と組合が、補助金上限について協議・調整をおこなった際の議事録はあるか。
- 4 従来計画と今回の容積割り増し計画それぞれにおいて、再開発事業+定期借地あわせた費用便益比を分析するための基礎データ（公文書）はあるか。
- 5 定借区域E棟の「山車」について。

# 一般質問発言通告書

発言順位 12 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 11番 甲斐幸博

## 質問事項1 小中学校体育館の空調設備設置について

具体的な内容 静岡市で8月6日、日本歴代2位となる記録的な高温、41.4°C、命に関わる危険な暑さとなつた。

国は、熱中症対策と災害時の避難所の環境整備を進めるため、公立学校の体育館や武道場などへの空調設備の設置を支援し、設置費用として2分の1を支援している。全国の設置率は22.7%といまだ低い設置率となっているが、空調設備設置について伺う。

- 1 热中症対策についてどのように考え、実際の対応はどのように行っているか。
- 2 スポットクーラーや大型扇風機のない体育館で環境の確認はできているか。
- 3 市内小中学校体育館の空調設備の設置率、又、空調設備費用はどのように考えているか。
- 4 空調設備の設置を考える上での課題をどのように考えているか。
- 5 地球温暖化などの理由で、今後も体育館での気温上昇が危惧されています、今後の対応は。
- 6 現在特別教室でエアコンの設置状況は。また、今後必要となる特別教室はどの位あるか。
- 7 子ども達の命を守るために、優先順位を上げ熱中症対策に取り組む必要があるのではないか。

## 質問事項2 子どもや若者に関する問題解決の取組について

具体的な内容 先日、岐阜市へ視察に行ってきました。岐阜市は、子どもや若者に関する問題の複雑化・多様性に対応するため、「エールぎふ」を開設しています。エールぎふの特徴は“総合相談窓口”を設けていて、ワンストップで受け止めている所です。令和4年度から、「こどもサポート総合センター」をエールぎふ内に設置しています。

こどもサポート総合センターとは、児童相談所・岐阜県警察少年サポートセンター分室・岐阜市教育委員会・エールぎふの4つが連携したステーションとなり、窓口は1つでワンストップで受け止めています。当市の取り組みを伺う。

- 1 いじめや不登校の状況、校内教育支援センター「校内フリースクール」の学習環境は。
- 2 子どもや若者の悩みごとの対応は現在どのように行っているか。
- 3 「子ども・若者計画」を策定するが、困難を抱える若者に対する支援等が含まれているか。
- 4 三島市も総合窓口をつくり、総合的に相談・支援を行うワンストップでの対応はできないか。

## 質問事項3 三島市内の水道管について

具体的な内容

国土交通省が、老朽化で耐久性が低下した、破損のリスクが大きい「鋳鉄」製の上水道の旧式管を全て撤去する方針を決めました。鋳鉄は鉄を含む合金で、1960年代ごろまで全国の水道管で多く用いられましたが、衝撃に弱く、老朽化で破損しやすくなるため、自治体は、耐久性に優れた「ダクタイル鋳鉄管」などへの置き換えを進めています。当市の今後の対策についてどのように考えているのか伺う。

- 1 上水道の状況、又、市内に60年以上経過している鋳鉄管の状況はどうなっているのか。
- 2 年間の鋳鉄管の漏水事故件数及びその内容はどのようなものだったのか。
- 3 老朽化した水道管の撤去・交換の計画は、今後どのように計画しているか。

# 一般質問発言通告書

発言順位 13 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 3番 村田 耕一

## 質問事項1 介護体制

具体的な内容 認知症や独居の高齢者が増加する中、住み慣れた地域での暮らしが継続できるよう、相談をはじめとしたさまざまな支援を行っていく必要がある。現状をふまえ以下に伺う。

- 要介護認定の申請に際し、まず調査員が申請者を訪問する認定調査が行われるが、その件数が多く調査まで約1か月かかると言われたと聞く。職員に件数と調査内容の負担が大きいのではないか。改善について伺う。
- 府中市ではこの工程の効率化サービスを導入している。介護認定調査員支援システム、介護認定審査システム、認定業務サポートであるが、導入の見解を伺う。
- 介護保険では福祉タクシーの運賃部分は適用されない。そこで介護認定者のための福祉タクシー乗車券の交付ができるのか伺う。
- 国は介護保険外の生活援助サービスを民間連携するモデル事業創出に向けた補助事業を実施する。訪問介護の生活支援でヘルパーでなくても提供できる部分も含め保険外の生活援助民間連携サービスをつくりその利用料を市が補助する仕組みについて見解を伺う。

## 質問事項2 学校施設の空調設備設置

具体的な内容 学校の特別教室、体育館への空調設備設置について早急に進め、30度超えの中で頑張る子供たちの声を聴かなければならない。2018年に普通教室での室温を調査した時は31.5度、2025年8月では32.6度、7年前に比べて室温は上昇しており、以下について伺う。

- 特別教室への空調設備導入計画は作成されるか。
- 体育館の空調可能性調査に基づく設置概算費用は、1校当たり6,000～9,000万円、断熱性確保工事概算費用は1校当たり2,000～4,000万円とし、床面積の大きいところでは交付金上限額の7,000万円を超えるとしているが、体育館容積全体を空調する必要はなく、対流式とふく射パネルを組み合わせたエコウインハイブリット方式であればランニングコストを含めた費用低減は可能であり、設置費用5,000万円、断熱工事窓の遮熱シートで200万円の設置費用としても交付金で2,600万円で設置できる。京都府八幡市では、築50年の体育館で断熱工事なしで対流式とふく射パネルを組み合わせたエコウインハイブリット方式を最もよい方式として導入している。令和8年度から3校づつ設置できないか。

## 質問事項3 結婚子育て支援

具体的な内容

令和7年度よりハッピーマリッジ事業を開始し地域全体で結婚子育てを応援しようとしているが現状の分析と結果の出せる取り組みについて伺う。

- いま子どもを持ちたくないと思っている若者（15～39歳）はどのくらいいて、なぜそう思うのか現状どこに課題があると分析しているか。
- イベント、ライフデザインを考える機会提示システム、相談が柱と考える。出会いの場としてスポーツ観戦縁結びツアー、将来を考えるライフデザインシミュレーター、相談がスタートするが他と違う特徴はあるか、またその周知はHPに載せるだけか伺う。
- もう一つは本気のジェンダー平等を確立していく事と考える。豊岡市はジェンダーギャップの解消に向けて取り組み、若い女性を呼び戻しつつあると聞く。ジェンダーギャップ解消戦略は結婚子育て支援の有効な取組みだと考えるが見解を伺う。

# 一般質問発言通告書

発言順位 14 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 7 年 9 月 5 日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 1 番 秋山 恭亮

## 質問事項 1 水の都 三島で子育て

具体的な内容 三島市は豊かな自然と都市機能が調和する水の都として、安心して子育てができるまちづくりを積極的に推進してきた。全国的な少子化の中でも、子育て環境の充実は地域の魅力を高め、定住・移住促進にも直結する重要な要素である。今こそ、本市の先進的な取組や柔軟な支援姿勢を市内外に広く発信し、子育て世帯に選ばれる都市としての存在感を一層高めることが求められている。そのための視点から、子育て支援策の現状と更なる可能性について伺う。

- 1 子育て支援自動販売機の設置について伺う。
- 2 困窮世帯の学習支援策について伺う。
- 3 子育て支援拠点のネットワーク化・デジタルマップ化について伺う。
- 4 小中学校の体育館空調について、現状把握、国の補助金、物価高騰等を見据えた今後の方針を伺う。

## 質問事項 2 災害時の協定について

具体的な内容 災害廃棄物の運搬・処理について、令和6年9月議会にて、国の補助金「災害等廃棄物処理事業費補助金」を活用し活動対価を支出できるよう協定内容の見直しと、再度協定の組合員への周知を求めた。説明会を開催し協定の見直しも行なうとの答弁だったが、その後の状況を伺う。

## 質問事項 3 地方創生策

具体的な内容 人口減少と少子高齢化の進行は、地域社会の持続性を脅かす大きな課題である。こうした中で、移住・定住の促進や地域を担う人材の確保は、地域活力を維持し将来を切り拓くための鍵となりえる。本市においても、豊かな自然環境や都市機能を活かした魅力的な暮らしの発信とともに、国の政策や補助制度を最大限に活用しながら、実効性ある地方創生の取組を進めていくことが求められている。改めて本市の方向性を明確にし、対外的にも「選ばれる都市」であることの発信を強化していく必要があると考える。

- 1 関係人口の観点からの担い手確保策について、地域おこし協力隊、地域活性化起業人、プロフェッショナル人材事業、地域プロジェクトマネージャー、ふるさとワーキングホリデー、レビューキャリ等、過去実施や検討はあったか。
- 2 地方創生 2.0 基本構想を受けて、このなかのふるさと住民登録制度の先行事例に伊豆ファン俱乐部が該当すると考えるがいかがか。また、伊豆ファン俱乐部の今後の運営について伺う。
- 3 令和7年度における地方創生補助金活用事業について、本市が申請を行った地方創生補助金事業の事業名、総額、補助率、令和7年度実施の代表的な事業政策について伺う。
- 4 IJU ターンの把握状況(移住者のステータス)、特にUターンは本当に把握できているか(住民票の異動)
- 5 移住後の定着度は追いかけているか、1年・3年・5年の定着度は確認できるか。
- 6 移住者を市役所で採用し、実務を担いながら移住者の相談に乗る体制をとっている市がある。三島市で検討できないか。

# 一般質問発言通告書

発言順位 15 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年 9月 5日  
三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 9番 服部正平

質問事項1	三島市第3次環境基本計画（2022年度～2031年度）の取り組みについて
具体的な内容	市は温室効果ガス排出量を削減とともに、二酸化炭素吸収源への対策を推進し、脱炭素社会を目指していくこと、周辺環境と調和に配慮しながら再生可能エネルギーの導入とともに省エネルギーの推進、進行する地球温暖化に伴う気候変動の影響に適応する取組の推進、これらを課題としています。 これらの事業課題の進捗状況を伺い、現時点での達成状況及び最終目標に向けた取り組みについて質します。
1 温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みについて	(1) 温室効果ガスの排出を抑えるための取り組み内容と進捗状況について伺う。 (2) デジタルの活用（DX）により様々な事業を推進しているがそのことによるエネルギーの消費量はDX推進以前と比較しどう変化しているか。 (3) 当市における事務・事業から排出される温室効果ガスの現状、市の事業におけるエネルギー使用量の「見える化」について伺う。 (4) ごみ処理を3市2町で広域化することによる環境改善効果とその根拠を伺う。
2 再生可能エネルギーの導入促進に向けた取り組みについて	(1) 当市における地産地消での再生可能エネルギーの導入状況を伺う。 (2) 現時点での地産地消による再生可能エネルギーをどれほど市は生み出しているか。 (3) 当市の取り組みとして再生可能エネルギーを拡大し生み出す必要性、課題について伺う。
質問事項2	市民の健康増進に向け当市が取り組まれている事業について
具体的な内容	市民の健康増進を図ることを目的に睡眠習慣に着目した取り組みを当市は進めています。その事業内容と今後どのように事業展開を図るか、また、推進するにあたっての課題について伺います。 さらに、今年度6月開始した「加齢性中等度難聴者補聴器装用モニター助成制度実証事業（みみサポみしま）」について質します。
1 市民の睡眠習慣の改善に向けた取り組みについて	(1) 事業に着目した背景について伺う。 (2) 実証実験から得られた結果について伺う。 (3) 今後の事業展開について伺う。
2 新規事業「みみサポみしま」について	(1) 事業開始後の状況について伺う。 (2) 次年度以降の事業推進に向けた課題と想定される実施事項を伺う。

# 一般質問発言通告書

発言順位 16番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 12番 佐野 淳祥

## 質問事項1 伝統芸能と文化の継承、しゃぎりへの理解とシティプロモーション

具体的な内容 今年も3日間にわたる三島大祭りが、盛大に開催されました。私は居住の加屋町、職場の中央町と2つの町内において、当番町が回ってくるので、3年おきに本祭りを謳歌することができます。準備や祭り前は大変ですが、始まると日常味わえない異次元の楽しさがあります。三島大祭り実行委員会をはじめとする関係各位には、大変感謝申し上げます。この祭りが三島を形作ってきた本質なのであろうと、毎年感じます。

中日16日には踊り屋台パレードがあります。踊り屋台は現在、広小路町の1台のみがパレードで稼働しておりますが、市内には全部で3台あると聞いております。文豪・太宰治が、昭和9年に三島に滞在した経験を綴った「老ハイデルベルヒ」では、「踊り屋台、手古舞、山車、花火、三島の花火は昔から伝統あるものらしく…。」と書かれ、「ロマネスク 喧嘩治郎兵衛」にも三島の踊り屋台の記述がありますが、現在ではその維持が困難で、存続が危惧されています。

また、民間では、摺り鉢を金属でストラップにしたもの、木で小さめに制作したもの、段ボールで組み立てるもの、などがあります。三島の名物として、お土産にしたら喜ばれ、市民のしゃぎりへの理解向上、シビックプライドの醸成、シティプロモーションに寄与するのではないかでしょうか。

- 1 三島における踊り屋台の当局認識について
- 2 三島大祭りで山車とセットだった踊り屋台の今後について
- 3 三島のお土産としての「しゃぎり」PRについて

## 質問事項2 三島駅南口周辺の安全と利便性について

具体的な内容 三島駅南口周辺は、公示価格が上昇し、評価が高まっている証左です。再開発が進む中、南口広場の改修も含め、いくつかの課題も市民から指摘がされています。駅周辺の有料駐車場は特に金額が高いと言われ、かつての市営三島駅南口駐車場から民間委託されている駅利用者用の20分無料は、1分でも過ぎると1時間分の600円が請求されます。今後、離れた立体駐車場になると、どうなるのでしょうか。また、周辺の料金体系も近隣市町と比較して高額で、駅前商業飲食施設への来客の影響も心配されます。

楽寿園駅前口から寿町にかけて、市道小山三軒家線は両サイドに自転車専用通行帯が設置されています。自転車専用通行帯への自動車の停車は、道路交通法で概ね5分以内の短時間は認められますが、それ以上停車している現状です。駅利用者駐車場が不便になり、さらに駅前広場の改修で乗車スペースがないと、この状態が悪化する懸念があり、市営駐輪場が立地する通りで、通勤通学など自転車通行の安全が脅かされます。

また、菰池公園では、公園内での発生事件に伴い、近隣住民の所有する防犯カメラの提供を警察から求められることがあるようですが、公園内への設置が望ましいのではないのでしょうか。

- 1 高騰する駐車料金の影響について
- 2 再開発後の駅利用者用駐車場について
- 3 駅前広場の改修計画について
- 4 自転車専用通行帯での自動車停車対策について
- 5 菰池公園の安全と防犯カメラの設置について

# 一般質問発言通告書

発言順位 17番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年9月5日  
三島市議会議長 堀江和雄様

三島市議会議員 7番 石井真人

## 質問事項1 新庁舎建設と市の財政状況について

具体的な内容 令和6年度決算では、単年度収支がマイナス約6.6億円で2年連続の赤字に転じた。扶助費や補助費等が年々増加し財政の硬直化が進んでいる。こうした中で、新庁舎建設に100億円以上を投じることは、市の財政健全性を大きく損なうのではないかと考える。また、ファシリティマネジメントの観点からも、既存公共施設全体の老朽化や更新需要を踏まえれば、新庁舎のみを多額のコストをかけて優先的に整備するのはバランスを欠いていることから、以下に伺う。

- 1 9月29日から市は新庁舎に関する市民説明会を予定しているが、説明会が「南二日町広場への移転を前提とした計画を知らせる場」にとどまり、意見を反映する機会になっていないのではないか。改善案の提案や市民の声を丁寧に聞き、計画に反映させるべきではないか。
- 2 6月議会で「位置条例」が否決され、さらに交通アセスメント調査の結果も出ていない中、基本構想の見直しも検討も行わず、同じ内容を再度上程しようとしている市の姿勢は、議会の意思を軽視するものではないか。
- 3 財政が厳しい中で、新庁舎の基本構想は「規模縮小」「地域の拠点強化」「機能分散」など、もっと柔軟な発想で見直す必要があるのではないか。ファシリティマネジメントの観点からも、新庁舎を建設する際に、生涯学習センターなどの他の公共施設全体の最適配置の中で再検討すべきではないか。
- 4 経常収支比率の悪化、維持修繕費等が類似団体の半分の状況などの厳しい財政状況下において現行計画は規模が大きく、建設費用が膨らみすぎている。本庁舎は必要最小限の機能に絞った「コンパクト庁舎」とし、建設費を抑える方向で再検討すべきではないか。
- 5 長期財政計画との整合性や、他公共施設の更新との優先順位をどう考えているのか。

## 質問事項2 三島市のひきこもり対策について

具体的な内容 ひきこもりは、地域社会全体に大きな影響を及ぼす深刻な課題であり、特に、中学校卒業後に不登校からそのままひきこもりの状態に移行してしまうケースは少なくなく、早期に対応が求められている。そこで、以下に伺う。

- 1 中学校卒業後の不登校からひきこもりへの移行防止について  
本市におけるひきこもりの実態についてどのように把握しているのか。また、中学校卒業後の不登校生徒の進路状況はどうか。高校進学や就労につながらず、ひきこもり状態に移行するケースに対しての現行の三島市における支援策は。
- 2 若年層への早期対応の必要性及び切れ目のない支援体制の整備について  
中学校卒業の節目に教育委員会と福祉部局の連携体制強化の考え方。中学校とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、青少年相談室、子ども家庭センターや生活支援センター等の他機関との接続をどのように図るか。ふじのくにマップの周知を強化しては。
- 3 財政的な影響と予防的な支援の投資の意義について  
ひきこもりが長期化した場合にかかる社会としての財政負担と、ひきこもりに予防的な支援の投資を行い納税者として社会参加することになった場合の財政的な影響は。
- 4 今後の具体的な取り組みについて  
枚方市のような「こども見守りシステム」を導入し、中学校卒業時点での不登校生徒に対して、中長期的に、こどもを見守る体制を構築する仕組みを導入できないか。

# 一般質問発言通告書

発言順位 18 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 7年 9月 5日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員

16番

永田 裕二

質問事項1 学校給食における食品ロス削減と児童生徒の喫食状況

具体的な内容

令和7年3月に閣議決定された第2次「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」では事業系一般廃棄物の削減目標が8年前倒しで達成したことから、新たな目標として60%減と設定された。学校給食で発生する食品ロスを減少させる事も考えられるが、一方で、食べ残しを意識した児童生徒が配膳量を少なくしてしまう事を危惧する。原因として喫食時間が十分に確保されていない可能性を推測するとともに、保護者が、学校での食事量を確認できれば、家庭での食事や間食などと合わせ、児童生徒の食生活全般を把握できるのではとの思いから伺う。

- 1 学校給食での食品ロス削減取組み状況と、調理残渣・児童生徒の食べ残し量の推移を伺う。
- 2 発生した生ごみの処理方法、減量化の取り組みを伺う。
- 3 配膳時間・喫食時間・片付け時間の配分状況と喫食時間確保の取り組みを伺う。
- 4 時間に内に食べきれない場合や好き嫌いで食べ残してしまった場合の対応を伺う。
- 5 児童生徒が希望する配膳量の増減はどの程度許容されているか。
- 6 給食に関する児童生徒を対象としたアンケートはあるか。

質問事項2 本庁舎駐車場の混雑時の対応

具体的な内容

本庁舎駐車場が混雑し、職員が数名で車両誘導を行っている様子を散見する。

本来の業務に支障が出でないか心配されるため、詳細を伺う。

- 1 駐車場混雑時の車両誘導にあたる守衛室の体制を伺う。
- 2 守衛室での対応では間に合わない場合の対応を伺う。
- 3 職員による対応を不要とする取り組みについて伺う。